授業科目　社会福祉援助技術論Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
村上信	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠な専門的社会福祉援助活動（ソーシャルワーク）で用いられる援助の方法・技術（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。
社会福祉援助技術論Ⅱは、専門的社会福祉援助活動を担う専門職（ソーシャルワーカー）と社会福祉援助技術について、その意義、ソーシャルワークの体系、価値・倫理、展開過程、専門分化と総合化の現状と課題について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．社会福祉援助活動の場とそこでソーシャルワークが果たす役割や機能について理解する。
2．ソーシャルワークの発展過程を学び、ソーシャルワークをめぐるわが国及び諸外国の動向について理解する。
3．ソーシャルワークにとって必要不可欠な要素である契約、課題、面接介入、記録、評価について理解する。
4．基本的コミュニケーションや円滑な人間関係を図るための方法について理解する。
5．事例分析を通して相談援助の実際を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会福祉援助技術の適用領域と対象分野		
2	ソーシャルワークの形成過程ー慈善組織協会・セツルメント運動ほか		
3	人と環境の相互作用ーシステム理論・エコシステム論		
4	実践モデルとアプローチー治療モデル・生活モデル・ストレングズモデル		
5	実践モデルとアプローチー心理社会的・課題中心・危機介入・エンパワメントアプローチ		
6	相談援助における援助関係ーソーシャルサポート		
7	相談援助における援助関係ー援助関係とコミュニケーション技法		
8	社会福祉援助技術の共通課題ー記録		
9	社会福祉援助技術の共通課題ースーパービジョン		
10	効果測定と評価		
11	相談援助と個人情報の保護		
12	事例分析を通して相談援助の実際を学ぶ		
13	事例分析を通して相談援助の実際を学ぶ		
14	全体のまとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）	『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	新版第3版
	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	新版第4版
参考書	医療ソーシャルワークの理論と実際		見洋書房	
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】
出席状況及び定期試験

【履修上の留意点】

社会福祉学科　専門